

検査報告書変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目の報告書を一部変更させていただきます。
何卒ご了承賜りますようよろしくお願い申し上げます。

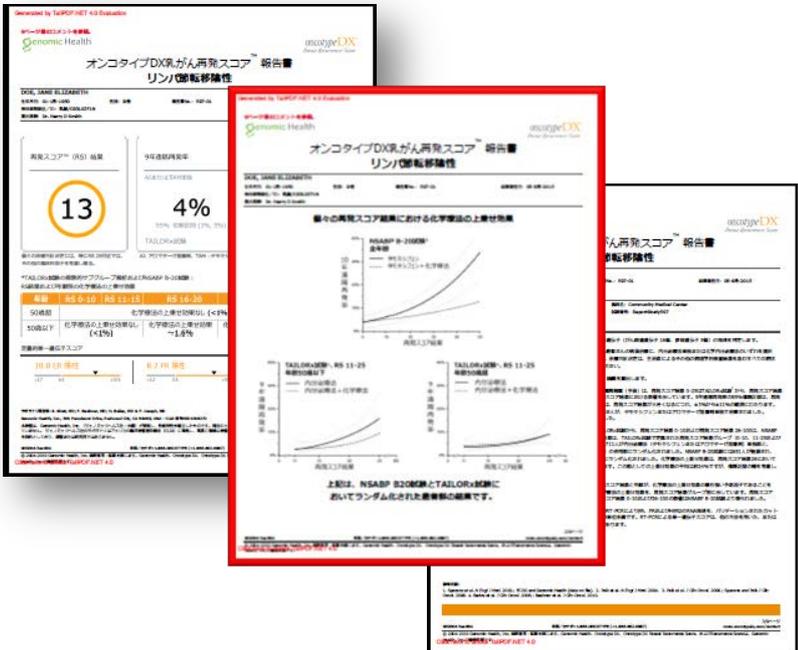
謹白

記

■ 実施日 2019年7月31日(水) ご報告分より順次変更

■ 変更項目

項目コード	検査項目	備考
M7813	OncotypeDX Breast	報告書の一部変更

新	現
 <p>1 頁目 検査結果を数値と表で表示 2 頁目 検査結果をグラフで表示（追加） 3 頁目 参照ページ</p>	 <p>1 頁目 検査結果を数値と表で表示 2 頁目 参照ページ</p>

変更内容

＜リンパ節転移陰性、微小転移およびリンパ節転移陽性（1-3個）＞

1. 化学療法の上乗せ効果を患者様に説明する際に、グラフがあったほうが望ましいという意見を多く頂いたため、報告書にグラフを掲載
 - a. リンパ節転移陰性：NSABP B-20 試験、TAILORx 試験（年齢別、再発スコア結果 11-25）
 - b. リンパ節転移陽性：SWOG8814 試験
2. 再発スコア結果に加えて、臨床病理学的因子を考慮することが望ましい、とする NCCN ガイドラインに沿った文言を、再発スコア結果タイルの下に追加
3. 9年遠隔再発率および化学療法の上乗せ効果に95%信頼区間を参考にしたいとの意見を頂いたため、報告書タイトル内に95%信頼区間を記載
4. 化学療法の上乗せ効果は、該当する再発スコア結果群の平均であることを明確にするために、化学療法の上乗せ効果タイルのタイトルを変更し、タイトル下には2ページ目のグラフを参照するよう注釈を追加

＜微小転移およびリンパ節転移陽性（1-3個）＞

5. 再発スコア結果 18-30 の化学療法の上乗せ効果について、平均値だけでは誤解を招く恐れがあり、より広い範囲にわたることを示すために、「化学療法の効果を否定できません」という文言へ変更

＜すべての報告書＞

6. 日付の記載が、日本の記述様式に合わなかったため、米国式に変更